

令和3年度 グーフィークラブ事業計画

1. 概要

①運営目標

- 落ち着いた環境の中で生活できるように、20名の定員での運営を行います。
- 子ども主体の活動ができる環境づくりを心掛け、生活や遊びを自分たちで作り上げ、協力し合い発展させながら楽しむことができるようにします
- 利用者の要望に耳を傾けながらニーズに沿えるように努めます
 - ・近隣の小学校に通う子どもの減少や平日の利用時間が短いことで学校がある平日の利用者は少なく、学校の長期休みの希望者が増えてきています。
 - ・中学生になっても学校の長期休みは利用したいとのニーズにも応じグーフィークラブのリーダーとしての活動を期待します
- 同園内年長児との交流会を定期的に行い、園児の就学に対する意識づけのサポートをする役割を担います。

②定員 20名

ただし、必要に応じてスポット利用を受け付けます。また、夏休みなど長期休暇の際もスポット利用の受け入れをします。

③事業日数 293日 (日曜、祝日、12/30～1/4は休園)

④開所時間

平日 7:00～19:00 (7:00～8:30・18:00～19:00は延長)

土曜 7:00～18:30 (7:00～8:30・18:00～18:30は延長)

⑤職員数 指導員 1名 (保育士資格有)

2. 事業運営

①教育理念

- 放課後の生活を安全に守り、基本的な生活習慣の指導や学習の習慣づけの援助を行う
- 子ども同士共同しながら生きる力を育む

②教育方針

1. 生活の流れを把握し、リーダーを中心に子ども主体の活動を行いコミュニケーション力をつける
1. 正しい生活習慣を定着させる
1. 他律から自律へと成長していく過程を援助する
1. 個々の存在を認める

③学年別目標

1、2年生

- 大事なことを聞く力、話題に沿って話し合う態度を身に着ける
- 集団の一員として自分の役割について気づき、適切な行動ができるようにする

3、4年生

- 筋道を立てて話す力、聞く力、話し合う力を身に着ける
- 目的を持って仲間とともにやり遂げる力を育む

④職員配置 学童保育指導員 1名（保育士資格有）

⑤活動内容

- 学校のある日の利用は短時間ではあるが集団生活や季節行事を楽しむ活動を行います
- 学校の長期休みの利用者が増えそうなので、その時期に高学年がリーダーとなり、子ども主体の活動を行います
- 戸外遊びを多く取り入れ遊びの充実を図ります
- 乳幼児クラスに入りお手伝いや遊びの幅を広げてあげる交流をすることで自己肯定感を高めます
- 保小連携（同園年長児が不安なく入学できるようつなげるため）
- 野外活動を楽しみながら四季の変化や生活技術、社会のルールを学びます

⑥家庭との連携

- 毎月、活動内容を報告する「おたより」を配布します
- 連絡帳、お迎え時などを通し、子どもの活動や様子を伝えるとともに、気になる子に関しては随時面談を行います
- 年に2回個人面談を行います

⑦人材育成

- 職員の資質向上及び専門性の向上を図るため、園内研修・園外研修へ参加します

⑧地域貢献

- 出張保育、園庭開放の手伝い、保育参加
- 瓢箪山公園の清掃
- 地域の小学生の親子に対して相談対応を行います

⑨健康・安全

- 子どもの表情や様子の把握、異変時に注意し的確な対応を行います
- 生活習慣、衛生管理の定着を図ります
- 保護者、学校、地域と連携をとり、登下校時の安全確保を行います

- 警報発令時、保護者、学校と連携し子どもの所在確認と安全確保を行います
- 看護師による園内救急講習に参加します（AEDの使い方、応急処置など）

⑩苦情解決

- 「苦情申し出窓口」（指導員が受付担当者）、「御意見箱」を玄関に設置し、個人面談、連絡ノート、アンケートなどで保護者の意見を聞き、いただいた意見や要望については概ね24時間以内に回答し、活動に反映させます。尚、回答については掲示板や広報に掲示をします

⑪リスクマネジメント

- 学校から園までの帰り道で不審者や危険を感じたことは帰園後すぐに子どもから職員に報告するように子どもたちに伝えてあり必要に応じて保護者、学校に連絡を入れるようにしています。子ども同士のトラブルや危険行為などに関してはなぜ危険なのかを考えたり、改善方法を子ども同士やクラス全体で話し合いを行います。
- 怪我や事故には十分に注意をはかりますが、起こってしまった場合については子どもたちに適切な指導をするとともに、原因を究明し、再発の防止に努めます。また、必要に応じて迅速に医療機関への受診をします
- 災害時の避難場所、避難方法などについて子どもたちと一緒に体験し災害時の行動について学習します。